

天国とは、善人が直接に天主を見奉り、天主と親しく一致し、その御寵愛を蒙り、終なく完全な幸福を得るところであります。

「今我等の見るは鏡を以てして瞻なれども、彼時には顔と顔を合せ天主を見るべし」(コリント前二ノ三ノ二)

「天主彼等の目より涙を悉く拭去り給い、此後は死あることなく、悔も叫も苦も更に之あらざるべし」(黙二ノ四)

172 ✖ 天国に行くのは、どのような靈魂でありますか。

天国に行くのは、少しも罪の汚がないか、或は罪を赦されてその償を悉く果した人の靈魂であります。

173 ✖ 地獄とは、どのようなところでありますか。

地獄とは、悪人が天主に棄てられて、悪魔と共に終なく苦しむところであります。

あります。

「彼等は外の暗に逐出されん、其処には痛哭と切歯とあらん」(マテオ八ノ二二)

「阻われたる者よ、永遠の火に入れ」(マテオ二五ノ四一)

174 ✖ 地獄に行くのは、どのような靈魂でありますか。

地獄に行くのは、大罪をもつて死んだ人の靈魂であります。終らない天国と地獄との存在は、

一、天主の啓示によつても明らかであります(コリント前二ノ三ノ二、黙二ノ四、ペトロ後二ノ四、マテオ八ノ二二)

二、道理を推し究めても、此の世に於ける幸不幸の不公平なことを改めるために、後の世で適當な賞罰がなければならぬことによつて認められます。尚此の賞罰に終がないのは、人は不滅の靈魂を有して、永遠なる天主の御前に善悪を行うのでありますから、たとえその善悪は一時的の仕業であつて

も、永遠の賞罰を受けねばならぬことになるのであります。特に地獄については、人は死と共に取り返しのできぬ最後の決定を受けねばなりませんから、死後痛悔して罪の赦を蒙る余地がなく、従つて罪人は終ない地獄の罰を受けねばならないのであります。

175 ✖ 煉獄とはどのようなところでありますか。

煉獄とは、罪の償を果すまで、靈魂が苦しみを受けるところであります。

176 ✖ 煉獄に行くのは、どのような靈魂でありますか。

煉獄に行くのは、小罪があるか、或は罪の償をまだ果さない人の靈魂であります。

177 世の終の後も煉獄がありますか。

世の終の後は、天国と地獄とがあるだけで、煉獄はありません。

第二十五課 肉身の復活、公審判

178 世の終には、どのようなことがありますか。

世の終には、イエズス・キリストの御約束と御復活の保証とにより、すべての人の肉身が復活します。

179 ✖ 肉身の復活とは何でありますか。

肉身の復活とは天主の全能によつて、世の終に、靈魂が再び元の肉身に合せられることであります。

「墓の中なる人々悉く天主の声を聞く時來らんとす。斯くて善を為しし人は出でて生命に至らんが為に復活し、悪を行ひし人は審判を受けんが為に復活せ